

元気がわら版

庄原市社協だより12月号【Vol.116】

子どもを安心して預け、胸のうちを語れる場に —託児ボランティア—



小学生と一緒に「だるまさんが転んだ」をして遊ぶ県大生のボランティア



11月15日(土)、ひろしま避難者の会「アスチカ」主催の「交流カフェin 庄原」が行われました。東日本大震災を機に、県北へ避難して来られた方は子育て中の方も少なくありません。交流カフェの参加者が子どもを安心して預け、避難してきた思いなどをゆっくり話すことができるようにとの思いから託児ボランティアの依頼があり、庄原市ボランティアセンターでは託児ボランティアの調整をお手伝いしました。

ひろしま避難者の会「アスチカ」って？

東日本大震災を機に、広島に避難した当事者が運営する避難者による避難者のための会。広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ仲間を見つけたりしながら生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出す力を蓄えることをサポートしている。



P1・・・ボランティア活動紹介(託児)
P2・・・役員改選
P3・・・福祉教育指定協力校事業
P4・・・元気報告・庄原・西城・東城・口和

P5・・・元気報告・高野・比和・総領・介護のワンポイント
P6・・・よろず相談・お知らせ・協力寄付
P7・・・寄付金
P8・・・地域のものがたり(西城)・広告

庄原の「家族力」、「地域力」の再生を！



今、日本人の「平均寿命」は男性80歳、女性86歳と年々伸びています。しかし、自立して元気に暮らせる期間である「健康寿命」は、男性71歳、女性74歳と平均寿命とは約10年もの差があります。

つまり私たちは人生最期の10年程度は、健康を損なって医療や介護の世話になる可能性があるということです。

また国の調査によると、人生最期を迎える場所が半世紀前は自宅が8割以上でしたが、現在は8割近くが病院で亡くなっています。しかし、「国民の終末期の療養場所に関する希望調査」では、6割以上が自宅を希望しています。

庄原市の高齢者アンケート調査を見ても、将来介護が必要になった時には家族や介護サービスの支援により、住

み慣れた自宅での生活を望む人が約7割にもなります。

「終末期をどこで迎えたいですか？」
「胃ろうや延命措置を希望しますか？」
「誰にも必ずやって来る「人生の最期」を私たちはどう考えているでしょうか。」

自分の将来をそして最期の迎え方を考えれば、もつと今の生き方が見えてくるのではないかと思います。

今国においては、これからの医療、介護のあり方として「地域包括ケアシステム」を推進しています。

これは、高齢者の医療、介護のしくみを「施設から在宅へ」切り替えていく、つまり住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるよう、医療、介護などのサービスを家庭にしながら提供できるように切り替えていくものです。

依然として少子高齢化が進む中で、毎年約600人もの人口減少が続いています。

子供たちは極端に減少し、一方で高齢者の一人暮らしなど高齢者のみの世帯が急激に増えています。そして医療や介護サービスの利用者は年々増加して、その経費とともに私たちの保険料の高騰が続いています。

これから医療や介護サービスが在宅を中心に切り替わる中で、家庭や地域で高齢者の方々を支えることができるでしょうか。

私たちがこれから年老いて支援が必要になったときに、家庭や地域で支えてもらうことができるでしょうか。

これからの「地域包括ケア」推進のためには、家族の絆とともに地域の支えあいのしくみづくりがどうしても必要です。

庄原市社会福祉協議会 会長 山内 文雄

庄原に住んでいる私たちはもちろん、離れて暮らす子供や孫たちも一緒に家族の将来を考えることが必要ではないでしょうか。

これから庄原の「家族力」「地域力」を強くするためには、まず私たち市民一人ひとりが自分の家族、自分の地域の将来を考え行動する、そして庄原の明日を担う子供たちが「この地に住みたい」と言ってくれるまちをつくること、それが私たち大人の責務だと思います。

私たち社会福祉協議会も、地域の皆さんや行政と一緒に家族や地域の絆づくり、自助・共助のしくみづくりを最重要課題として取り組んでおり、これからも市民の皆さんとともに庄原の「福祉のまちづくり」を進めていきたいと思っています。

任期満了に伴う役員改選

任期満了に伴う役員・評議員の改選を行いました。

新体制のもと、住民参加による福祉のまちづくりを進めて参ります。よろしくお願いいたします。

第6期 役員・評議員の紹介

【理事】

会長	山内 文雄(宮内町・学識経験者)
副会長	秋山 義治(総領町・学識経験者)
	藤谷 善久(板橋町・市自治振興区連合会)
	住田 鉄也(川北町・市老人クラブ連合会)
	三上 一城(宮内町・市民委員児童委員協議会)
	佐藤 浩子(東本町・市地域女性団体連絡協議会)
	八谷 文策(川北町・庄原さくら学園)
	尾野 素子(尾引町・県老人福祉施設連盟)
	上田 正之(口和町・県社会福祉協議会)
	小笠原洋行(西城町・地域自治振興区連絡協議会)
	安川 保(東城町・地域自治振興区連絡協議会)
	井上 清憲(高野町・上高自治振興区)
	奥田 順紀(比和町・比和自治振興区)

【監事】

地子給高司(東城町)	光永 幹夫(川手町)
春田 正治(総領町)	

【評議員】

板本 安功(西城町)	中森 誠(高 町)
秋山 愿(総領町)	竹本 健三(本 町)
森江 光明(高 町)	芳山 秀樹(本村町)
國本加代子(春田町)	渡辺 英則(新庄町)
東 泰治(上原町)	菟原 元樹(山内町)
桂藤 安夫(川北町)	紙川 光志(西城町)
織田みね子(西城町)	比原 一夫(西城町)
村上 聖子(東城町)	赤木 壽子(東城町)
高原 淳尚(東城町)	高柴 和哲(東城町)
若林 元美(東城町)	山田 勝美(口和町)
栗田 正暁(口和町)	加藤 寛(高野町)
草谷 末廣(高野町)	畑谷 美秀(比和町)
富田ひろ子(比和町)	横山 和則(総領町)
藤野富美代(総領町)	

平成26年度福祉教育指定協力校の取り組みの一部を紹介します

福祉教育指定協力校事業は、小学校・中学校及び高等学校において児童、生徒、保護者、地域住民が連携協働し社会福祉への理解と関心を深め、社会参加の精神を養うとともに、心の通う福祉の地域(まち)づくりの推進を図ることを目的に実施しています。



●庄原小学校

「稲刈り体験」

“実業高校生に刈り方や束ね方のコツを教えてもらったよ”



●東小学校

「ふれあいと思いやりの心」

“つやつやのお米 たくさん収穫～地域の方々ありがとうございました～”



●永末小学校

「第38回庄原さくら学園・もみじ園との交流会」

“永末小児童と庄原さくら学園・もみじ園と一緒にミニ運動会”



●高小学校「ふれあい祭」

“小学校の児童とかわせみの家の方がグループを組み、健康に関するカルタ取りをしました。児童が考えた健康に関する標語を使い、健康意識を高めます”



●西城中学校

「地域に対し 誇りと感謝の気持ちを」

福祉施設から所長さんをお招きして、異なる世代の人と交流するためのコツを教わりました。



●口和中学校

「届けよう！ 広げよう！」

「ホントノキズナ郵便」

「学校と地域」「地域と生徒」を繋ぐ架け橋として、昨年度から「ホントノキズナ郵便」を実施しています。



●口北小学校

「ふれあいだより」

80歳以上の高齢者世帯へ、地域の方々や駐在所、郵便局、社会福祉協議会を介して手書きのはがきを手渡しお届けしています。



●比和小学校

「祖父母学級で昔の遊び」

「これはどうやるん？」
「これはこうやってとるんよ～」
めんこやおはじき、あやとりを習いました。



●高野小学校

「福祉体験と、交流をしました。」

おばあちゃんから「一つでもいいので、夢をもって頑張るんよ」と言ってもらい、自分の夢を必ず叶えたいと思いました。

社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会

人事異動について

【平成26年12月1日付】

次の人事異動を行いました。(管理職異動)
新体制のもと、地域福祉向上のため鋭意努力してまいります。
引き続き、格段のご支援ご協力をお願い申し上げます。

●高野地域センター長

三川 みゆき



庄原地域センター

0824-72-5151



ちょっとした暮らしの困りごと

やまびこネット365事業は、生活のちょっとした困りごとを協力員と共に解決する有償ボランティア活動です。

先日、高齢の男性から「妻が入院中。任せっきりだった家事を自分なりに行い、いつでも迎えられるようにしておきたいが、腰が痛むので掃除機がけがとても辛いんです。一緒に手伝ってください」と相談があり、早速協力員を調整し困りごとの解決に繋がりました。「いざ、ひとりになって妻への感謝がこみ上げ、そして、自分にできることの限界も感じ、改めて地域福祉の大切さ、地域の方の温かさを実感しました。ありがとうございました」とお言葉をいただきました。

ちょっとした暮らしの困りごとはありませんか？お気軽にご相談ください。



西城地域センター

0824-82-2953

たくさんの思いをカタチに

今年も赤い羽根共同募金活動の一環として、歳末たすけあい芸能大会を開催しました。

この大会は出演者と多くのボランティアに支えられ、今回で38回目を迎えることができました。会場には、大会を楽しみに来場された住民さんの笑顔があふれ、ステージでは、地域づくりについての課題や取り組みを題材に、笑いをまじえて伝える有志の劇団、西城の伝統芸能を維持しようと活動されている神楽のほか、この日を目標に多くの方が練習を重ね成果を発表してくださいました。出演者やそれを支えるボランティアなど、長年続く大会の舞台裏には、たくさんの思いが詰まっており、それがカタチとなる一日でした。

募金活動を通じ、子供から大人まであらゆる年代の人が集まり楽しめる場を作りたいと始まったこの大会を継続していきたいと思います。



東城地域センター

08477-2-0488



こたつで健康体操

白滝山の麓『さつき会』サロンにおじゃましました。日頃から気にかけているご近所さんなので自然と会話が弾みます。ひとり暮らしの方からは「ここに来れば、困り事が相談でき安心して地域で暮らせる」と月1回のサロンが待ち遠しい様子でした。

この日は、「サロン世話人研修会」で習った健康体操にチャレンジしました。首・肩・腰の運動で身体をほぐし、数字を使った頭の体操で大笑い。「こたつに入ったまま簡単にできて良かった」「毎回やってみよう」と好評で、心も身体も温まりました。



口和地域センター

0824-89-2320

訪問リハビリテーション

在宅介護者会では、三次神経内科クリニック 花の里の水越理学療法士を講師に招き、訪問リハビリテーションについての学習会を行いました。

参加者からは「訪問リハビリという言葉は初めて聞きました。自宅の環境に合わせて歩行や生活動作、動きやすくなるための練習ができるのはいいですね」「本当は病院に行ってリハビリを受ける方がいいのですが、なかなか出たがらないのも実情。新たな選択肢が増えました」との感想が聞かれました。

次回は介護食について学習会を計画しています。介護に関心のある方、是非ご参加ください。





高野地域センター

0824-86-3044



隣近所がやっぱり大事

特定高齢者介護予防事業「お達者倶楽部」では、運動指導終了後の時間を利用し、社協のほか保健師、駐在所等に参加いただきお話をしてもらいます。

今回は、社協から、おたがいさまネット事業、併せてエンディングノートの紹介をしました。隣近所による日々の見守り、関係機関等との連携と併せ、一人暮らし高齢者等の皆様には、「毎日カーテンを開ける」「出かける時は隣近所や知り合いに一言声を掛ける」等、周囲に『自分を知らせる』ことが大事とお話をさせていただきました。「隣近所はうまくいかなことが多いが、隣近所で気に掛け合う事が大事だと年をとってよーわかるようになってきた。おたがいさまの取り組みは大事。」と皆さん言われました。これからも機会を設けては、情報提供を行っていききたいと思います。



比和地域センター

0824-85-2300

活動の場を広げて…

ゆめのいえのアルミ缶回収・リサイクル事業も地域の皆さんのご理解、ご協力のおかげで2年目に突入しています。

最初は「リサイクルとは言え、アルミ缶をもらうばかりで良いのか…？」という思いもありましたが、地域の方から「袋が節約になって良い」「ここに持ってくれば良いけえ助かる」など声を掛けていただき、私たちもとてもうれしく思っています。今回は皆さんの声にもう少し応えられるよう、回収BOXを新たに森脇(谷本商店近く)、福田(片岡商店近く)、木屋原(細田様宅)に設置させていただきました。7月末に比和の子どもたちがペイントしてくれた力作ばかりです。これで町内10カ所となりました。私たちの活動が、地域の皆さんに少しでも還元できるようこれからも頑張りますので、変わらぬご協力よろしくお願いします。



回収BOX設置場所(左記他7カ所)

●比和保育所 ●比和小学校 ●比和中学校 ●自治振興会館
●比和・垣内様宅 ●古頃・渡邊様宅 ●社協



総領地域センター

0824-88-2796

一人の漏れもないように～おたがいさまネット～



総領地域の「おたがいさまネット」事業は、自治会ごとに進捗状況は様々ですが見守り員を選び、対象者の把握を済まされている自治会も多くあります。11月25日、亀谷自治会の見守り員さんと第1回目の話し合いの場を持ちました。総領地域の見守りの合い言葉は「緩やかな見守り」。しかし、一人の漏れもないように見守るためにはどうすればいいか。地域の現状を一番よく知っておられる皆さんと話し合いを重ねることで、それぞれの地域の実情に合った見守り活動ができ、横の連携も強化できます。

話し合いの中で、「これから見守りを必要とする予備軍がたくさんいる。システムづくりがしっかりできていれば、情報は入ってくる。見守り員と民生委員、自治振興区や各関係機関が連携を取り情報交換ができる環境が大切」との意見が出されました。

自治会単位で「誰もが安心して暮らせる地域づくり」のための話し合いを行ってみませんか。ぜひ声をかけてください。



年末年始 過ごし方の ポイント



これからの時期、雪等で外出の機会が少なくなったり、年末年始等を自宅でのどのように過ごすかが体調管理においてとても大切になります。

- ①体調管理 ●インフルエンザに注意
年末年始の買い物等、人混みの中に行く機会も多くなります。
外出時にはマスクを着用しましょう。
●生活リズムを崩さない
いつもの時間に起きていつもの時間に寝ましょう。
- ②運動 ●自分のできることは、自分でやりましょう。
●1日2～3回 20分程度の運動をしましょう。
- ③楽しく ●笑顔・笑顔で元気に過ごしましょう。

よろず相談 のご案内



○一般相談(13:00~16:00)

- 毎週水曜日 庄原地域センター
 第1・第3木曜日 西城地域センター
 " 東城地域センター
 " 比和地域センター
 " 口和地域センター
 第1・第3水曜日 高野地域センター
 第2・第4水曜日 総領地域センター(9:00~11:00)

○法律相談

- ※予約制で一人の相談時間が30分以内です。
 1月9日(金)・23日(金) 庄原市ふれあいセンター
 相談時間は12:45~15:45です。

○多重債務相談

- ※予約制で一人の相談時間が45分以内です。
 1月8日(木) 庄原市ふれあいセンター
 相談時間は13:00~16:00です。

その他の相談にも応じています。
 お近くの地域センターにお問い合わせください。

「ボランティア交流サミット ひろしま2014」のご案内

学生を含む県内のボランティア活動者や市民活動者、社協職員、行政職員等が集まります。ブースでの交流を中心に、多くの活動者と会って、話して、つながりましょう!!

- 日 時** 平成27年2月14日(土)10:30~15:30(予定)
会 場 広島県社会福祉会館(広島市南区比治山本町12-2)他
交通手段 庄原からバスを出しますので、乗り合わせて参加できます。(定員:30名)
そ の 他 スケジュールや参加費等の詳細は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ・参加申込み先】
 庄原市ボランティアセンター 電話(0824)72-7120

川北小学校児童会 より寄付を いただきました。

ふるさと祭りでのバザー収益の一部を福祉に役立ててほしいと、寄付いただきました。



市民レポート

地域のものがたり



元気で前向きに

●レポーター名：西城町にお住まいの大谷 恵子さん

西城へ戻ってきて6年目になります。高校卒業後から西城を離れ、都会で生活していました。西城に帰る前の約10年は両親に介護が必要となり、休みの日は西城へ帰るという生活を続けていましたが、地域の方が「帰って来たら」といつも声をかけてくださっていました。「家を守らなければならない」という思いもあり、退職後しばらくすると「都会での暮らしはもういいかな。田舎でゆっくり好きなことをしてみよう」という気持ちになりました。

西城に帰って来て思うことは、好きなことを楽しみながら、元気に生活されている高齢者が多いということです。そういった方々を目標に、私もこれだというものを見つけようと、いろいろな事にチャレンジしています。そのひとつとして、地域の力になればとグラウンドゴルフ大会や老人クラブなどのお手伝いをしたり、トールペイントや編み物教室また、しょうばら花会議などへ参加しています。

外へ出ることによって新しい友人もでき、次の活動へとつながりました。何かあったらすぐに声をかけられ、自分をさらけ出せる友人ができたことは私の財産だと思っています。生まれ育った西城で微力ながら、これからも地域の戦力になれるよう、地域活動にも積極的に協力していこうと思っています。



学生の皆さんへ

専門学校や短大・大学へ通う学生の皆さん、社会福祉協議会でボランティア活動をしてみませんか。ご希望の方は、庄原市社会福祉協議会へご連絡ください。



広告



司法書士 飯田 一生
《広島司法書士会所属》

一人で悩まないで まず相談してください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

検索

広島北部司法事務所 《訴訟代理権認定第524014号》（司法書士登録番号828号）
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 パルナシユB2階 TEL0824-72-2315（要予約）

広告 備北交通 旅の御案内 庄原発

■主催：ひろでん中国新聞旅行 新春おすすめコース

- ①1月27日（火）庄原発：新春高知三翠園貸切プラン バスで行く2泊3日 大人：27,800円～39,800円
- ②2月21日（土）広島空港発：奄美大島2泊3日 広島空港から直行便 大人：89,000円～99,000円
- ③2月27日（金）広島空港発：種子島・屋久島3日間 広島空港から直行便 大人：109,000円
- ④2月18日（水）広島空港発：日本・加賀屋宿泊3日間 広島空港から直行便 大人：100,000円～120,000円
- ⑤2月9日（月）発：九州一周の旅6日間 プレミアムバスで行く 大人：160,000円～210,000円

■備北交通の高速バス利用のバック商品も多数用意しています。
本年大変お世話になりました。来年も備北交通のツアー宜しくお願いします。

■備北交通の高速バスバック商品／ホテルコヒロデン宿泊パック：庄原発・東城発とあります。 ■問合せ：0824-72-2122：備北交通

お問い合わせ 広島県知事登録旅行業第2-380号 申込先（庄原）〒727-0011 庄原市東本町三丁目11番16号

備北交通株式会社 TEL (0824) 72-7440

（営業時間）月曜日～金曜日9:00～18:00 ※祝祭日を除く たび館 総合旅行業務取扱管理者 森久 昭博 FAX (0824) 72-0610



庄原市社協だより

●発行日：平成26年12月20日 ●発行：社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会 庄原市西本町四丁目5番26号
●TEL0824-72-7120 ●FAX0824-75-0084 ●E-mail:info@shakyoshobara-city.or.jp ●印刷：平和印刷株式会社